体系的な講義　全86コマ（1コマ/90分）

科目名	科目責任者	内容	コマ数
産業医学基本講座導入	西田千夏	産業医の業務・専門性・教育、産業医学の歴史・現状と今後の課題、経営者・労働者と産業医学、産業医学における国際的活動	5
産業医の倫理	研究所長 （産業保健管理学）	産業医が企業と労働者の双方との良好な関係を維持し、職業性疾病の予防とともに、労働者の就業と健康の両立を支援するための判断や行動のあり方について考える	2
労働衛生関係法令	研究所長 （産業保健管理学）	産業医に必要な法令（労働基準、安全衛生、労災補償関係）の概要を解説し、労働衛生行政の組織や役割について解説する	6
健康情報の保護と活用	藤澤浩一	産業保健活動における健康情報の取り扱い、健康情報管理の実際	2
労働衛生管理とマネジメントシステム	永田智久	マネジメントシステム概論、基本方針・目標・評価、労働安全衛生マネジメントシステムの構成と文書化、監査と継続的改善の仕組	4
リスクアセスメント	藤澤浩一	産業保健におけるリスク・ハザードへの対応、職場巡視の意義とその概要	2
労働衛生教育	岡﨑龍史	労働衛生行政が規定する労働衛生教育の概要、教育すべき事項、および有用な技法について解説する。	2
因果関係と疫学	藤野善久	産業医学における疫学の役割、記述疫学・曝露の測定・疾病頻度の測定、症例対照研究、コホート研究	4
作業環境管理と快適職場	東　秀憲	概論・作業環境測定、作業環境のサンプリングと評価値の演習、粉じん職場、有機溶剤職場、騒音とその対策、環境改善の方法	6
作業管理と作業改善	榎原　毅	作業管理の役割、ヒューマンエラーの要因とその低減法、産業睡眠医学、高齢者と労働、作業姿勢と腰痛予防、上肢障害の概説と上肢作業負荷の評価法	6
一般健康診断と就業適性	田原　優	一般健康診断の実施内容、判定と事後措置、雇入時の健康診断、適正配置	2

科目名	科目責任者	内容	コマ数
特殊健康診断	藤澤浩一	バイオロジカルモニタリング、特殊健康診断	2
過重労働と疲労	研究所長 （産業保健管理学）	長時間労働や短時間睡眠が循環器疾患や精神障害の発生に与える影響について、近年の疫学研究と社会制度（労災認定基準、労働衛生上の取組）を紹介する	2
心理的ストレスとメンタルヘルス	江口　尚	職場のメンタルヘルス概論、メンタルヘルス不調者の職場復帰支援、職場のメンタルヘルスの最近の話題、メンタルヘルス教育	4
健康保持増進活動	田原　優	健康日本21（第三次）、改正健康増進法、健康づくりのための身体活動基準・健康ガイド2023、改正トータル・ヘルスプロモーション・プラン（THP）指針、エイジフレンドリーガイドライン、職場における健康づくり活動の実例	2
物理的要因による職業性疾病	岡﨑龍史	職場における物理的要因（騒音、振動、温熱環境、電離放射線、非電離放射線、高圧作業）による健康障害とその対応について学ぶ。	5
化学物質による職業性疾病	上野　晋	産業中毒学概論、化学物質による神経疾患、金属中毒、化学物質による血液疾患、化学物質による皮膚疾患、粉じん・化学物質による呼吸器疾患、化学物質と発がん、酸素欠乏症と有害ガス中毒	8
微生物による職業性疾病	藤澤浩一	微生物による労働者の疾病、医療機関における感染症予防対策	2
公衆衛生総論	大神　明	公衆衛生活動の歴史、地域保健と母子保健、医療保険制度、社会と健康、災害医療体制と公衆衛生	5
保健医療政策	田原　優	公衆衛生関連法令、行政の組織と役割、公的医療制度、介護保険制度、地域包括ケア、社会保障政策	2
行動科学	江口　尚	健康に関する行動理論の基本的な概念、ヘルスプロモーションの発展とその代表的なモデル、社会経済要因の健康に与える影響、主要な健康政策とその背景となっている行動科学理論、産業保健マーケティング	5
健康危機管理	立石清一郎	健康危機管理概論、危機管理体制、大規模災害と保健医療活動、新興感染症・食中毒対策、健康危機管理とリスクコミュニケーション、災害対応者の健康確保	5
産業医活動の実際	大神　明	企業内健康管理組織論、産業保健サービス提供組織、産業保健の課題と展望、面接記録作成の実際	3

充実した実習　全36コマ（1コマ/90分）

科目名	科目責任者	内容	コマ数
健康管理実習	永田智久	職場の喫煙対策、職場におけるがん検診、治療と仕事の両立支援、健康経営・コラボヘルス、産業保健活動の経済評価	5
じん肺読影実習	西田千夏	じん肺の画像読影、じん肺や石綿関連疾患の労災認定、じん肺の申請	2
メンタルヘルス対策実習	江口　尚	メンタルヘルス不調者の対応に関する事例検討、職場環境の評価と改善	3
健康保持増進活動実習	田原　優	改正THP指針、健康測定、運動負荷試験、50%運動強度、運動処方の実際、健康づくりのための身体活動基準・健康ガイド2023、無関心層への取組、労働者の高齢化を見据えた運動の習慣化、フレイルとロコモーティブシンドロームの予防	4
救急処置実習	岡﨑龍史	企業内で生じた大規模あるいは小規模な事故や傷病者の急変を想定し、初期対応を学ぶ。また、企業で心肺蘇生実習を行う際の指導方法についても実習を通して学ぶ。	2
作業環境管理実習	東　秀憲	局所排気装置の性能、作業環境改善実習ー化学物質ー、作業環境改善実習ー騒音対策ー、作業環境と個人用保護具	4
作業管理実習	榎原　毅	上肢の筋骨格系障害の評価、姿勢計測手法を用いた重量物取り扱いにおける負荷推定、眠気の主観的･客観的評価方法、参加型職場改善活動と人間工学チェックポイントの活用	5
疫学実習	藤野善久	疫学的手法を用いた研究企画作成・発表、疫学的手法に必要な統計演習	5
有害業務管理実習	上野　晋	化学物質のリスクアセスメント【化学物質等による危険性/有害性の特定、特定された危険性/有害性による.リスクの見積り、リスクを低減するための措置内容の検討、優先度に対応したリスク低減措置の実施】	2
職場巡視実習	大神　明	動画視聴による職場巡視実習を行い、企業・製品の理解、有害業務の内容確認、巡視に必要な装備、指摘、巡視記録作成方法について理解する	4